

スピーカー

NS-5000

取扱説明書

保証書別添付

ご使用前に必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

- 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
● 浴室・台所・海岸・水辺
● 加湿器を過度にきかせた部屋
● 雨や雪、水がかかるところ
水の混入により、火災や感電の原因になります。



必ず実行

スピーカーケーブルは必ず壁などに固定する。
ケーブルに足や手を引っかけるとスピーカーが落下や転倒し、故障やけがの原因となります。

使用上のご注意



禁止

ポート（背面開口部）などに異物を入れたりしない。
火災や感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

⚠ 注意

設置



必ず実行

開梱や持ち運びは、必ず2人以上で行なう。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
外装が変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



禁止

スピーカーの底面積より狭い場所や傾斜のある場所には設置しない。
スピーカーが落下や転倒して、けがの原因になります。



注意

接続する場合は、アンプの電源を切る。接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書に従う。

移動



プラグを抜く

移動をするときには、アンプの電源スイッチを切り、すべての接続コードを外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



禁止

持ち運ぶときは、ポート(背面開口部)や前面のプロテクターに手をかけない。
ポートが外れたり、プロテクターが外れて落下したり、本機を落としたりして、けがの原因になります。

使用上のご注意



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、アンプの音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

ポート(背面開口部)に手を入れない。
感電やけがの原因になります。



禁止

本機に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしない。
落下や転倒したり、破損したりして、けがの原因になります。

スピーカーとプロテクターには磁石が使われています。磁気の影響を受けるもの(ブラウン管テレビ、時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなど)を本機の上や近くに置かないようにしてください。

お手入れ



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



禁止

(艶出し仕上げモデルの場合) 本体の表面に金属、陶器、その他固いものを当てない。
表面にひびが入ったり、剥がれたりする場合があります。

お手入れのしかた

鏡面部

ピアノ用クリーニングクロスのご使用をおすすめします。
汚れがひどいときは、水に濡らして固く絞った柔らかい布をご使用ください。

鏡面部以外

ベンジンやシンナーなどの化学薬品は使用しないでください。表面を傷めてしまうおそれがありますので、柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、水で薄めた洗剤を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

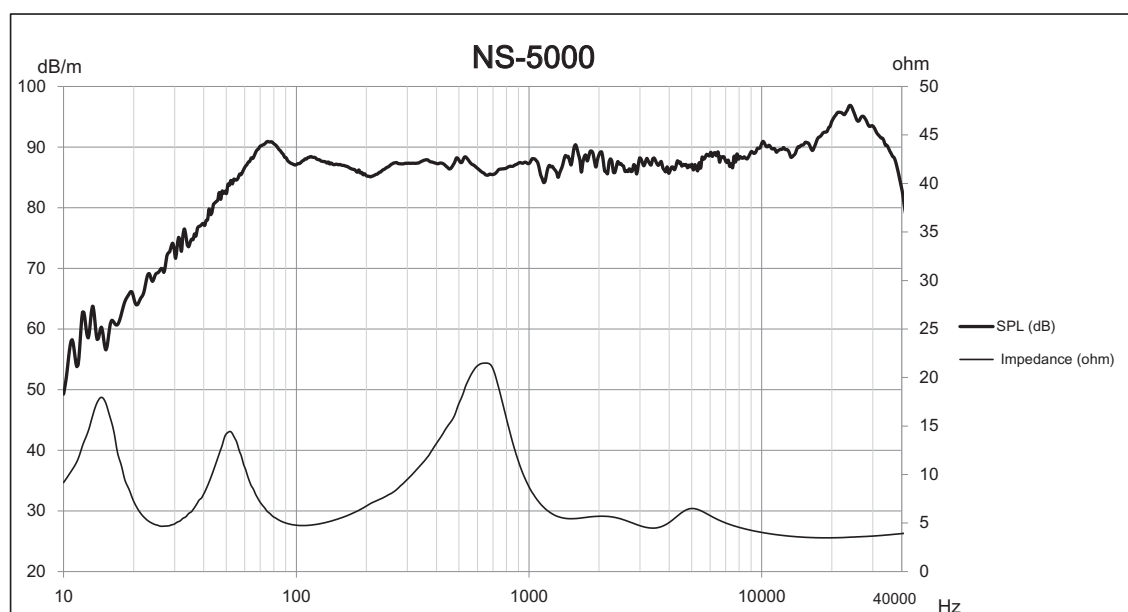
目 次

安全上のご注意	i	スピーカーの設置	3
本機の特長	1	アンプとの接続	4
本機の特徴表	1	プロテクターの取り付け	5
ポートプラグ	2	仕様	5

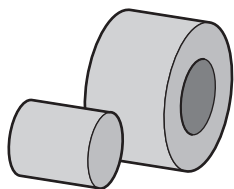
本機の特長

- 30cm 3ウェイ ブックシェルフ スピーカーシステム
- ザイロン ダイアフラム採用（ザイロン[®]は東洋紡株式会社の登録商標です。）
- アコースティック アブソーバー採用
- レゾナンス サプレッション チャンバー採用
- ツイステッド フレアポート採用

本機の特徴表



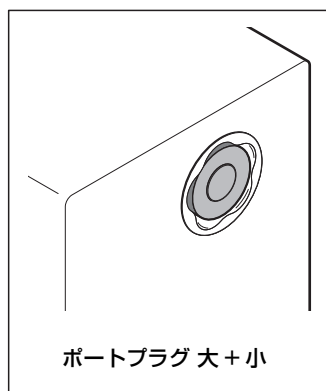
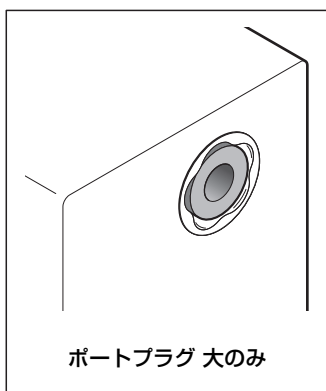
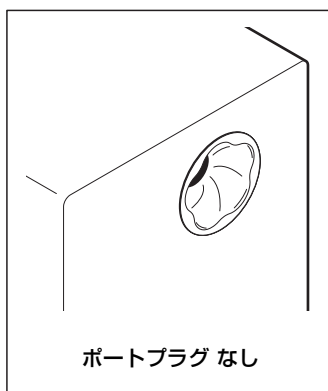
ポートプラグ



本製品には低音域を調整するためのポートプラグ（吸音材）があらかじめ取り付けられています（背面ツイステッドフレアポート内部）。
本製品を設置する場所や壁からの距離により、低音域の調整が必要なおとき、取り付け / 取り外してお使いください。大小ふたつのパーツで2段階の調整ができます。

低音域をおさえたい場合 ㊦ ポートプラグを取り付けます。

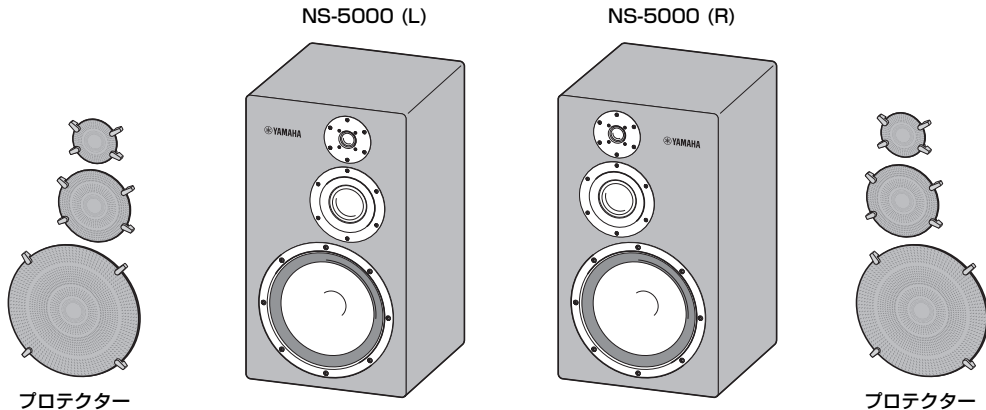
メーカー推奨 ㊦ ポートプラグを取り外してお使いください。



⚠ 注意

- ポートプラグを本体へ取り付けの際は、あまり深く挿入し過ぎないでください。ポート内部へ落ちて取り外せなくなることがあります。
- ポートプラグが取り外せなくなったり、内部へ落ちてしまった場合は、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

スピーカーの設置

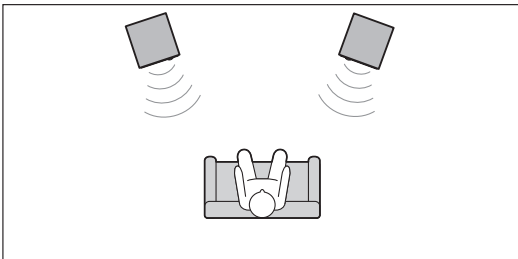


⚠ 注意

- プロテクターはスピーカー本体から外れた状態で梱包されています。失くさないようにご注意ください。

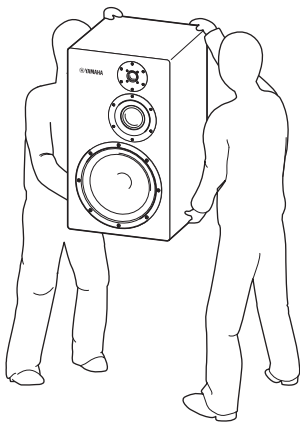
■ 2 チャンネルスピーカーシステムとして

図のようにリスニングポジションに対して少し内側に向け設置することにより、効果的なステレオ再生ができます。



変形タイプの部屋や、部屋に障害物がある場合、必要に応じてスピーカーの位置や角度を変えたり、左右のスピーカーを逆の位置に設置したりすることで効果的なステレオ再生をお楽しみいただけます。

⚠ 注意



- **開梱や持ち運びは、必ず2人以上で行なってください。**
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
- **スピーカーの左右側面、および底面を持って運んでください。**
 - 側面の鏡面部は滑りやすいので本機が落下や転倒してけがの原因になります。
 - 前面のスピーカーユニットにふれると破損の原因になります。
 - スピーカースタンドなどに設置するときに手や指を挟み、ケガの原因になります。
- **スピーカー側面に力をかけないでください。**
転倒して損傷やけがなどの原因になります。
- **スピーカーケーブルは必ず固定してください。**
手や足に引かけて本機が転倒する原因になります。
- **本機は非防磁設計です。ブラウン管テレビの近くに設置すると、色ムラや雑音などが生じる場合があります。そのときは、テレビとスピーカーの距離を離して使用してください。**

アンプとの接続

接続するときは、必ずアンプなどの電源を切ってから行なってください。

■ 接続について

市販のスピーカーケーブルをご用意ください。

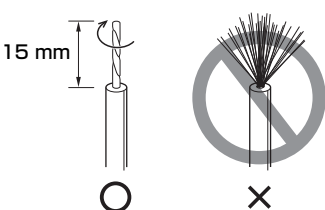


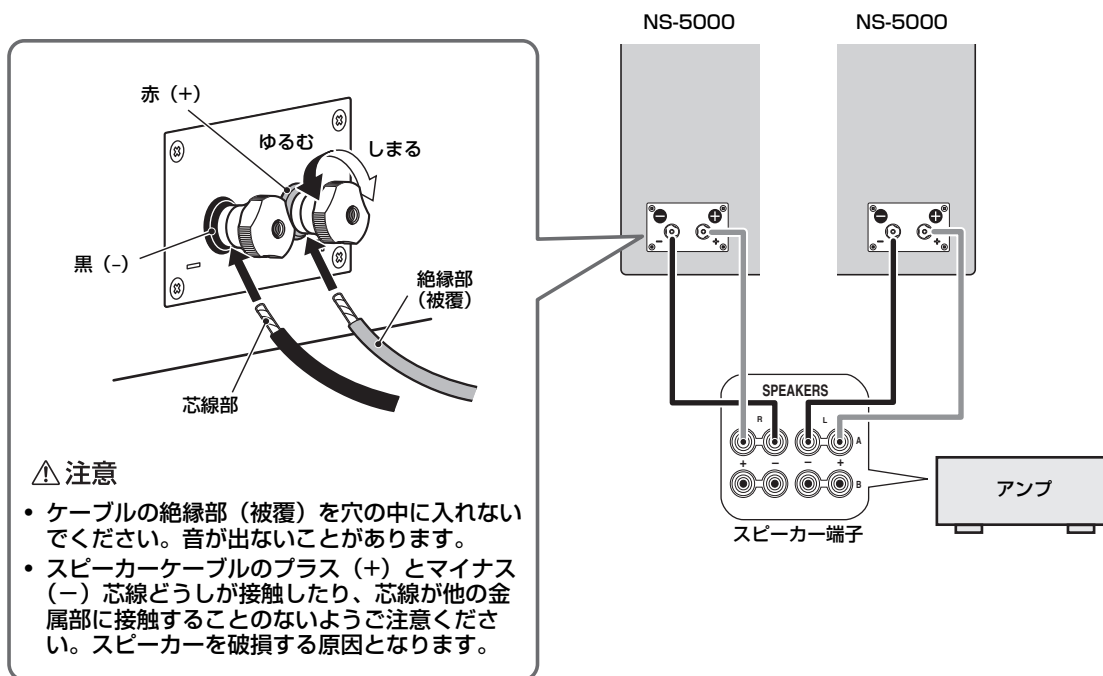
スピーカーケーブルの太さや材質は、再生音質に影響を与えます。本機の性能を十分に発揮させるために、高品質のスピーカーケーブルを使うことをおすすめします。

⚠ 注意

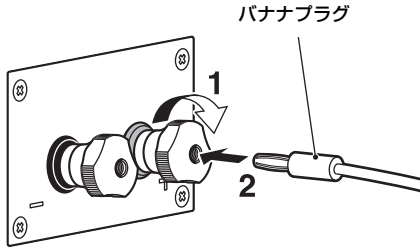
- スピーカー背面の端子とアンプのスピーカー端子を市販のスピーカーケーブルで接続します。本機の赤端子はプラス (+)、黒端子はマイナス (-) です。
- スピーカーはアンプの L (左) 端子と R (右) 端子に接続します。それぞれ極性 (+、-) を間違えると不自然な音になりますので、ご注意ください。
- スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用する場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を入力しないよう、ご注意ください。
- アンプのトーンコントロール (BASS、TREBLE 等) やイコライザーを最大にして過大出力で使用したり、特殊な信号 (テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生波) を連続して入力することは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行なわないでください。
- 接続する際は、アンプの取扱説明書もあわせて参照してください。

■ 接続のしかた

- 
- 1 スピーカーケーブル先端の絶縁部 (被覆) をよじりながら引き抜きます。
 - 2 端子を左に回してゆるめます。
 - 3 スピーカーケーブルをスピーカー端子の穴に差し込みます。
 - 4 端子を右に回して締めつけます。
 - 5 芯線部分が穴からはみ出していないかどうかを確認してください。



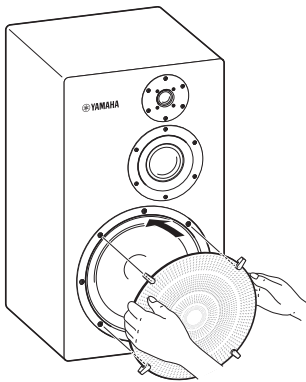
■ 市販のバナナプラグを使用する場合



- 1 端子を右に回して強く締めます。
- 2 バナナプラグをスピーカー端子の穴に差し込みます。

プロテクターの取り付け

本機とプロテクターは、別々に梱包されています。取り付ける場合は、プロテクター裏面の凸部（マグネット）を本機の対応するネジと合わせます。



⚠ 注意

- プロテクターをはずした状態で、スピーカーユニット、特にツイーターに手を触れたり、工具などで無理な力を加えないでください。音が歪む原因となります。
- スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 取り外しの際は、プロテクターをスピーカーにぶつけないようご注意ください。表面にキズが付く原因となります。
- プロテクターは落とさないよう両手で取り付け / 取り外しをしてください。落として本機や床を破損したり、ケガの原因となります。
- 取り付け / 取り外し時の際は、手や指を挟まないようご注意ください。
- プロテクターを外してお使いになる場合、外したプロテクターは、変形しないよう平らな場所で大切に保管してください。また、投げるなどして遊ばないよう、お子様の手の届かない場所に保管してください。

仕様

型式.....	3 ウェイ・ブックシェルフ型／非防磁型	許容入力	200 W
スピーカーユニット	30 cm コーンウーファー	最大入力	600 W
	8 cm ドームミッドレンジ	出力音圧レベル.....	88 dB
	3 cm ドームツイーター	クロスオーバー周波数.....	750 Hz, 4.5 kHz
インピーダンス	6 Ω	外形寸法（幅×高さ×奥行き）.....	395 × 690 × 381 mm
再生周波数帯域	26 Hz ～ 40 kHz（－ 10 dB） ～ 100 kHz（－ 30 dB）	質量.....	35 kg

※ この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

※ 上記の最大入力値以上の信号を加えないよう十分ご注意ください。

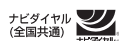
製造シリアル番号等が記載された定格銘板ラベルは、製品本体底面に貼付されています。

※ 製造シリアル番号は L、R とともに同じ番号です。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

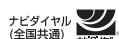
■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセイビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、 一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する 部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

Manual Development Department
© 2016 Yamaha Corporation

Published 06/2016 IP-A0
Printed in Indonesia

ZT95000